

## 第3学年音楽科学習指導案

時間・場所 公開授業③ 第一音楽室

学 級 3年2組 33名(男子19名,女子14名)

指 導 者 赤沢 沙織

- 1 題材名 「曲が生まれた背景と関連付けて作曲者の思いを感じながら聴こう。」  
～「ブルタバ（モルダウ）」連作交響詩「我が祖国」から～

### 2 題材について

本学級の生徒は、曲を聴いて感じ取ったことを直感的に表すことはできるが、その根拠がどのような要素によるものかという部分について、思いを深めていくことに課題がある。

本題材は、B鑑賞の指導事項（1）ア 及び共通事項アをもとに設定する。

オーケストラの豊かな響きを味わうとともに、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりや音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心を持ち、鑑賞することをねらいとしている。音楽を形づくっている要素の変化と情景や作曲者の思いとの関わりについて理解し、根拠をもって批評文を書く活動を通して楽曲に対する理解を深め、曲に込められた作曲者の思いを深く味わって聴くことにつながっていくものと考えた。

そのために「楽器の音色」「旋律」「強弱」の3つにポイントを絞り、それぞれの要素とそれらの働きが生み出す雰囲気を感じ取りながら、知覚・感受を重ね、最後に学習した内容をいかして聴き、味わいながら自分の考えや思いを言葉で伝え合ったり、友達の考えに共感したりすることにより、作品を深く味わうことができると考えた。

### 3 題材目標及び評価規準

#### （1）題材目標

- ・「ブルタバ」の音楽を形づくっている音色、旋律、強弱、速度等を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、曲が誕生した背景となる歴史と関連づけて、作曲者の思いを感じながら聴くことができる。
- ・知覚・感受しながら「ブルタバ」の音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを感じ取って解釈したり価値を考えたりして、言葉や批評文などで表すことができる。

#### （2）題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽の特徴と作曲者の思いや歴史的背景との関連について理解し、根拠をもって批評し、交響詩のよさや美しさを味わって聴いている。

### 4 指導計画（総時数2時間）

学 習 活 動	時
・「ブルタバ」を聴き、楽器の音色・旋律・強弱を知覚し、曲の特徴など気づいたことを言葉で表現する。	1
・「ブルタバ」の作曲された背景を知る。 ・学習したことを踏まえて「ブルタバ」を聴く。 ・前時の学習シートをもとに、曲の生まれた背景を踏まえ自分なりの価値をもって「ブルタバ」の批評文を書く。【本時】	1

## 5 本時の指導（2／2）

### （1）目標

標題や時代背景を手がかりに曲に託された思いを感じ取って聴く。

### （2）「振り返り」の工夫

批評文に自分なりの価値を文章で記述させ、共有し意見交流することで学びを深める。

### （3）展開

段階	学習活動	指導上の留意点と評価（□□）
導入 10分	1 前時の復習を行う。 2 本時の課題を把握する。 標題や時代背景を手がかりに曲に託された思いを感じ取って聴こう	1 前時に取り組んだ場面の特徴を想起させる。 2 課題を明確にさせる。
展開 30分	3 「ブルタバ」が生まれた歴史的背景を知る。 4 学習したことを踏まえて「ブルタバ」を聴く。 5 前時の学習シートや標題，曲の生まれた背景を手掛かりに「ブルタバ」について批評文を書く。	3 歴史的背景について説明し，理解する。 4 標題や時代背景を手掛かりに「ブルタバ」を鑑賞させる。 時代背景を学習し，改めて鑑賞して気づいたこと・分かったことを説明する。 <b>【観察・発言】</b> 5 標題や時代背景を手掛かりに，自分なりの価値に基づき，根拠をもって批評文を書かせる。 標題や時代背景を手掛かりに，批評文が書ける。 <b>【批評文】</b>
終末 10分	6 批評文を発表させ，感じたことについて意見交流する。 7 本時の振り返りを行う。 ・当時のチェコの背景を知った上で，あらためて曲を聴いてみるとスメタナがこの曲にどのような思いを込めたかが分かりました。（第Ⅰ型） ・標題をもとに聴いてみると，それぞれの場面の様子をより分かりやすくするために，楽器の音色や強弱を工夫していることが分かりました。（第Ⅰ型）	6 友達の批評文から，歴史的背景を理解して，解釈したり価値を考えたりさせる。 7 学習シートを回収する。